

就任の御挨拶

この度、岸田内閣において、沖縄担当大臣を拝命いたしました。

来年、沖縄の復帰から50年を迎えます。私は、沖縄選出の国会議員として、また沖縄県議として、長年、沖縄の発展に向けて取り組んでまいりましたが、このような節目のときに、担当大臣として沖縄振興に携わることになり、身の引き締まる思いです。改めて、担当大臣として、県民の思いを真摯に受け止め、沖縄の発展に全力で取り組んでまいります。

昭和47年の復帰以降、政府は5次にわたる振興計画に基づき、振興策を講じてまいりました。県民のたゆまぬ努力もあり、この間、沖縄は目覚ましい発展を遂げました。しかし、全国最下位の一人当たり県民所得や子供の貧困など、依然として解決すべき課題が残されています。

内閣府が本年8月に公表した「新たな沖縄振興策の検討の基本方向」においては、令和4年度以降の沖縄振興について、今一度法的措置を講じ、振興策を推進していくこととしています。引き続き、「基本方向」に沿った新たな振興策の実現に向けて検討を進めてまいります。

先日、大臣就任後初めて、戦没者墓苑を参拝し、戦禍に遭われた御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げるとともに、沖縄担当大臣として沖縄の発展のために力を尽くしていくこととお誓いしてまいりました。沖縄が抱える様々な課題の解決に向けた沖縄の取組を支援するとともに、沖縄が、優位性と潜在力を活かし、日本の経済成長の牽引役となるよう、また、県民の方々が暮らしの向上や豊かさを実感できるよう、地元の皆様の御意見を伺いながら、そして、可能な限り現地に足を運びながら、沖縄振興に取り組んでまいります。

にしめ こうさぶろう
内閣府特命担当大臣 西銘 恒三郎

座右の銘

初心忘れず
最善を尽くす

趣味

ウォーキング、城めぐり

復興大臣
福島原発事故再生総括担当

(沖縄及び北方対策)

令和3年10月
平成29年8月
平成29年12月
平成26年9月
平成26年12月
平成24年8月
平成20年9月
平成17年11月
衆議院議員初当選
衆議院議員二期目当選
国土交通大臣政務官
衆議院議員三期目当選
総務副大臣
衆議院議員四期目当選
経済産業副大臣
衆議院議員五期目当選
内閣府特命担当大臣
復興大臣

経歴(就任時のもの)

令和3年10月4日付けで、沖縄及び北方対策を担当する内閣府特命担当大臣に、西銘恒三郎氏が就任しました。



副大臣及び大臣政務官のプロフィール

内閣府副大臣に

黄川田

仁志

氏が就任



令和3年10月6日付けで、沖縄及び北方対策を担当する内閣府副大臣に、黄川田仁志氏が就任しました。

経歴（就任時のもの）

平成24年12月 衆議院議員初当選
平成26年12月 衆議院議員二期目当選
平成27年10月 外務大臣政務官
平成29年10月 衆議院議員三期目当選
令和3年10月 内閣府副大臣
(沖縄及び北方対策等)

趣味

剣道、空手、野球、落語、スキューバダイビング、三線

座右の銘

平常心是道
感謝協力

内閣府大臣政務官に

宗清

皇一

氏が就任



令和3年10月6日付けで、沖縄及び北方対策を担当する内閣府大臣政務官に、宗清皇一氏が就任しました。

経歴（就任時のもの）

平成26年12月 衆議院議員初当選
平成29年10月 衆議院議員二期目当選
令和2年9月 経済産業大臣政務官
内閣府大臣政務官
(国際博覧会担当)
令和3年10月 内閣府大臣政務官
(沖縄及び北方対策等)

趣味

ギター、スキー

座右の銘

疾風頸草

－西銘大臣の沖縄訪問－

西銘沖縄担当大臣は10月9日、大臣就任後初めて沖縄県を訪問しました。

国立沖縄戦没者墓苑へ参拝・献花をした後、玉城沖縄県知事や赤嶺沖縄県議会議長らと意見交換を行いました。



国立沖縄戦没者墓苑での参拝・献花



玉城沖縄県知事との意見交換



赤嶺沖縄県議会議長との意見交換